

I 自然と共生するまちづくり

◇自然環境の保全・活用

1. 環境基本計画策定事業

41万円  (環境管理課)

平成20年3月に決定した本計画の目標値・年度等を時点修正した改訂版を策定します。

【財源】市税などの一般財源 41万円

【主な使いみち】

・計画本書・概要版の印刷製本費 41万円

2. 環境学習推進事業

53万円  (環境管理課)

本市の豊かな自然環境に触れる機会や情報の提供を行うために、様々な環境イベントを実施します。


【財源】市税などの一般財源 53万円

【主な使いみち】

・自然観察会講師などの謝礼 18万円

・環境企画展用パネル作成委託費 18万円

3. 動植物保護対策推進事業

472万円  (環境管理課)

市内の希少な野生動植物の生息状況を把握し、保全・保護のための施策を実施します。今後、これらを保護していくための条例を制定する予定です。

【財源】市税などの一般財源 472万円

【主な使いみち】

・動植物調査研究会委員などの報酬 292万円

・保護条例指定候補種確認票作成などの謝礼
106万円

◇清潔で美しい地域づくり

4. 墓地霊園事業(墓地事業特別会計)

202万円  (環境管理課)

安心と安らぎのある生活環境づくりのため、赤田霊園と塩原温泉さくら公園墓地の維持管理を行います。このほか、墓地事業特別会計の主な内容と予算額は右記のとおりです。

【財源】墓地管理手数料など 174万円

市税などの一般財源 28万円

【主な使いみち】

・赤田霊園・さくら公園墓地維持管理経費

202万円



ニッコウキスゲ



沼ッ原湿原植物観察会の様子



県絶滅危惧種のトモンハナバチ

墓地事業特別会計

【主な内容と予算額】

- ・赤田霊園事業 141万円
- ・赤田霊園事業(一般会計繰出金) 1,010万円
- ・塩原温泉さくら公園墓地事業 61万円
- ・借入金返済元金・利子 (塩原温泉さくら公園墓地整備事業費分) 235万円

I 自然と共生するまちづくり

II 快適で潤いのあるまちづくり

III 健やかに安心して暮らせるまちづくり

IV 安全で便利なまちづくり

V 活力を創出するまちづくり

VI 豊かな心と文化を育むまちづくり

VII 創意と協働によるまちづくり

5. 公害対策推進事業

904万円 (環境対策課)

公共用水域を監視・保全するため、河川や工業団地排水の水質調査・分析を行います。

【財 源】 市税などの一般財源 904万円

【主な使いみち】

・水質・大気調査などの委託費 852万円

6. 産業廃棄物対策事業

3,379万円 (環境対策課)

産業廃棄物処理施設の巡回監視や立入検査のほか、不法投棄や野外焼却などの不適正処理の監視・指導活動を行います。また、不法投棄監視カメラを増設し、監視強化に取り組みます。そのほか、産業廃棄物処理施設の立地を規制し得る方策などについての検討を継続して進めます。

【財 源】 県の補助 360万円

寄附金 1,640万円

市税などの一般財源など 1,379万円

【主な使いみち】

・廃棄物監視員報酬 761万円

・産廃処分場周辺地下水水質検査委託費 436万円

・産業廃棄物処理施設周辺整備事業交付金 1,640万円

◇地球環境の保全

7. 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定事業

427万円 (環境管理課)

地球温暖化対策を推進するため、域内の温室効果ガスの排出抑制に係る総合的な施策として、実行計画(区域施策編)を策定します。

【財 源】 市税などの一般財源 427万円

【主な使いみち】

・計画策定支援業務などの委託費 400万円

8. ごみ収集費

2億3,331万円 (環境対策課)

清潔な生活環境と地域づくりのため、家庭から排出されるごみ(一般廃棄物)の収集・運搬を行います。

【財 源】 粗大ごみ収集手数料 175万円

市税などの一般財源 2億3,156万円

【主な使いみち】

・家庭系一般廃棄物等収集運搬委託費 2億3,118万円

9. 那須塩原クリーンセンター管理運営事業

6億6,625万円 (環境対策課)

那須塩原クリーンセンターの管理運営を行います。

【財 源】 廃棄物処理手数料 1億5,960万円

ごみ処理手数料 1億686万円

資源物等売払金ほか 1億1,072万円

市税などの一般財源 2億8,907万円

【主な使いみち】

・管理運営包括的業務などの委託費 6億2,655万円

・電気、水道料 3,748万円



定期的に水質調査・分析を実施



不法投棄監視活動を強化します



庁舎屋上に設置された太陽光発電設備



ごみ出しはルールを守りましょう



那須塩原クリーンセンター

I 自然と共生する
まちづくり

II 快適で潤いのある
まちづくり

III 健やかに安心して
暮らせるまちづくり

IV 安全で便利な
まちづくり

V 活力を創出する
まちづくり

VI 豊かな心と文化を
育むまちづくり

VII 創意と協働による
まちづくり

10. 最終処分場管理運営事業

2,948万円 (環境対策課)

那須塩原クリーンセンターから排出されるごみの燃え残った「灰」などを適正に埋め立て・管理する最終処分場の管理運営を行います。

【財源】市税などの一般財源 2,948万円

【主な使いみち】

・管理運営包括的業務などの委託費 2,250万円



最終処分場

11. 清掃センター解体事業

3,186万円 (環境対策課)

旧西那須野清掃センターの解体に伴う調査・設計、借地代替地の整備を行います。

【財源】清掃センター解体基金 3,186万円

【主な使いみち】

・ダイオキシン調査・解体設計業務などの委託費
2,020万円

・代替地農地整備などの工事費 1,160万円

12. 環境基金事業

3,001万円 (環境管理課)

「環境基金」を設置して、ごみ減量化のための事業を中心に環境保全事業の推進を図ります。

- ・剪定枝・落ち葉回収及びおが粉化事業
- ・廃食用油回収事業

【財源】市税などの一般財源 3,001万円

【主な使いみち】

・環境基金原資積立 3,001万円

13. 環境基金活用事業

1,497万円 (環境対策課)

環境基金を活用し廃食用油の回収及び剪定枝・落ち葉を回収しそれぞれ堆肥化の水分調整材や堆肥にしてごみ減量と資源化を行います。

【財源】環境基金 1,497万円

【主な使いみち】

・剪定枝及び落葉回収事業(粉碎業務委託)
745万円

・廃食用油回収ボックス 151万円



廃食用油回収ボックス

14. ごみ減量化対策事業

2,274万円  (環境対策課)

ごみの減量と資源化に対する意識の向上を図るため、ごみ減量推進員制度やごみ出しカレンダー作成、集団資源回収などを行います。

【財 源】 ごみ処理手数料 2,274万円

【主な使いみち】

- ・ 集団資源回収補助金 756万円
- ・ 廃棄物減量等推進員などの報酬 817万円

15. 生ごみ処理機購入補助事業

116万円  (環境対策課)

ごみの減量化やリサイクル・環境意識の向上を図るため、生ごみ処理機購入に対し、機械式の場合は2万円、処理容器の場合は4千円を限度に補助を行います。

【財 源】 ごみ処理手数料 116万円

【主な使いみち】

- ・ 補助金(機械式40台、処理容器90台)
116万円

16. 指定ごみ袋管理事業

5,060万円  (環境対策課)

指定ごみ袋の製造から販売までの費用です。


【財 源】 ごみ処理手数料 5,060万円

【主な使いみち】

- ・ 指定ごみ袋製造、配送、販売委託費 4,929万円

◇計画的な土地利用の推進

17. 地籍調査事業

1,442万円  (農林整備課)

土地利用の促進などのため、土地の地番、地目、所有者、境界調査など土地情報の明確化を行います。

今年度は上大塚新田・山中新田地区について行います。

【財 源】 県の補助 665万円

市税などの一般財源 777万円

【主な使いみち】

- ・ 地籍調査測量、測量図作成などの委託費
1,067万円



集団資源回収



生ごみ処理機購入補助事業



有料指定ごみ袋



国土交通省：地籍調査ロゴマーク

地籍調査ロゴマーク

I 自然と共生する
まちづくり

II 快適で潤いのある
まちづくり

III 健やかに安心して
暮らせるまちづくり

IV 安全で便利な
まちづくり

V 活力を創出する
まちづくり

VI 豊かな心と文化を
育むまちづくり

VII 創意と協働による
まちづくり

Ⅱ 快適で潤いのあるまちづくり

◇安全に暮らせる地域づくり

I 自然と共生する
まちづくり

Ⅱ 快適で潤いのある
まちづくり

Ⅲ 健やかに安心して
暮らせるまちづくり

Ⅳ 安全で便利な
まちづくり

Ⅴ 活力を創出する
まちづくり

Ⅵ 豊かな心と文化を
育むまちづくり

Ⅶ 創意と協働による
まちづくり

1. 防災対策推進費

1,478万円 (総務課)

防災対策として、災害対策用備蓄品を計画的に購入・確保するほか、防災施設・設備や無線の維持管理を行います。

【財源】 栃木県市町村振興協会補助金 112万円
市税などの一般財源 1,366万円

【主な使いみち】

- ・雨量監視システム設置費 300万円
- ・防災行政無線維持管理費 711万円



防災行政ネットワーク端末

2. 総合防災訓練事業

新規 379万円 (総務課)

地震・台風による災害発生時の危険回避行動や、防災に関する正しい知識を身につけるため、関係機関と市民による総合防災訓練を行います。

【財源】 市税などの一般財源 379万円

【主な使いみち】

- ・総合防災訓練会場設営委託費 240万円

3. 地域自主防災活動支援補助金

レベルアップ 1,142万円 (総務課)

災害に強いまちづくりを推進するため、自治会等を単位に自主防災組織の結成を促進するとともに、組織の活動を充実させるための支援を行います。

【財源】 市税などの一般財源 1,142万円

【主な使いみち】

- ・地域自主防災組織結成・資機材等整備補助金 1,142万円



交通安全啓発活動

4. 交通安全対策推進費

一部新規 3,866万円 (生活課)

市民の交通安全意識の高揚を図るため、交通安全教室・講習や市民総ぐるみ運動などの活動を行います。

【財源】 県補助 54万円
市税などの一般財源 3,812万円

【主な使いみち】

- ・交通指導員報酬 3,110万円
- ・交通安全啓発関連などの事務費 341万円
- ・交通安全啓発看板鉄塔修繕工事費 170万円



防犯灯

5. 防犯灯設置・管理費補助事業

2,085万円 (生活課)

安全な地域づくりのため、自治会などで実施する防犯灯の設置・管理経費について、その一部を助成します。

【財源】 市税などの一般財源 2,085万円

【主な使いみち】

- ・防犯灯管理費補助金 1,717万円
- ・防犯灯設置費補助金 368万円

6. 自主防犯活動支援補助事業

100万円  (生活課)

地域で行われる自主防犯活動を支援するため、団体が行う活動に必要な物品購入に対し、5万円を限度に補助を行います。

【財源】市税などの一般財源 100万円

【主な使いみち】

・自主防犯活動支援補助金 100万円

7. 消防組合負担金

14億5,177万円  (総務課)

地域の消防・救急体制の中核となる黒磯那須消防組合と大田原地区広域消防組合の負担金です。

【財源】市税などの一般財源 14億5,177万円

【主な使いみち】

・黒磯那須消防組合負担金 7億6,061万円

・大田原地区広域消防組合負担金 6億9,116万円

8. 消防団活動費

1億4,929万円  (総務課)

地域の消防防災力の充実を図るため、消防団の運営・活動を行います。

【財源】県の補助 50万円

市税などの一般財源 1億4,879万円

【主な使いみち】

・消防団員報酬 9,130万円

・市町村消防災害補償等組合負担金 3,112万円

9. 防火水槽整備事業

2,076万円  (総務課)

消防水利の充実を図るため、防火水槽の計画的な整備を行います。今年度は、3箇所(亀山地区、鍋掛地区、宇都野地区)について新設工事を行います。

【財源】借入金(合併特例債) 1,870万円

市税などの一般財源 206万円

【主な使いみち】

・40㎡級耐震性防火水槽新設設計・工事費 2,070万円

◇消費生活の安定・向上

10. 消費者行政推進費(消費生活センター管理運営事業)

802万円  (生活課)

消費者活動支援・啓発のため、消費生活と環境展の開催や消費者だよりの発行、消費者団体の活動補助などを行います。今年度は、栃木県の基金を活用して、消費者問題の啓発を兼ねた「くらしの豆知識」やシールなどを配付します。また、悪質商法被害防止や多重債務問題など、消費生活に関する相談業務などに応じる消費生活相談員を配置した、消費生活センターの管理運営を行います。

【財源】県の補助 116万円

市税などの一般財源 686万円

【主な使いみち】・消費生活相談員報酬 583万円

・啓発用「くらしの豆知識」などの消耗品費 93万円



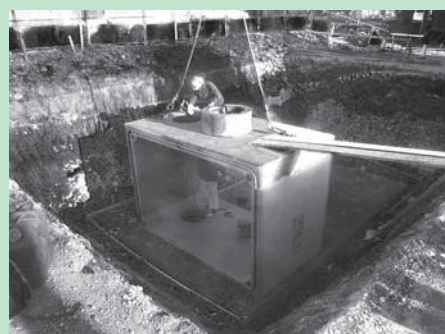
熱心に防犯講話を聴く、地域防犯ボランティアのみなさん



黒磯那須消防組合本署



大田原地区広域消防組合消防署
西那須野分署



防火水槽設置工事の様子



消費生活と環境展①

I 自然と共生する
まちづくり

II 快適で潤いのある
まちづくり

III 健やかに安心して
暮らせるまちづくり

IV 安全で便利な
まちづくり

V 活力を創出する
まちづくり

VI 豊かな心と文化を
育むまちづくり

VII 創意と協働による
まちづくり

◇公共交通網と交通安全対策の充実

11. 市営駐車場・駐輪場管理費

2,745万円 (生活課)

交通の安全確保、市民の利便性の向上を図るため、駅周辺などに駐車場6箇所、駐輪場6箇所を設置しています。

【財源】 駐車場・駐輪場使用料 2,257万円
市税などの一般財源 488万円

【主な使いみち】

- ・市営駐車場管理費 1,247万円
- ・市営駐輪場管理費 1,498万円

12. 地域バス運行事業費

5,060万円 (生活課)

高齢者や学生などが安心して利用できる公共交通環境を維持するため、ゆーバス(地域バス)の運行事業費補助を行います。

【財源】 県の補助 100万円
合併振興基金繰入金 2,849万円
市税などの一般財源 2,111万円

【主な使いみち】

- ・地域バス運行事業費補助金 5,000万円

◇姉妹都市交流・国際交流の推進

13. 国際交流推進費

42万円 (市民協働推進課)

国際交流団体の自主的な活動を促進し、イングリッシュキャンプ事業などの補助を行い国際交流の推進を図ります。

【財源】 市税などの一般財源 42万円

【主な使いみち】

- ・日本語指導者養成講座委託費 20万円
- ・イングリッシュキャンプ事業補助金 12万円

◇男女共同参画の推進

14. 男女共同参画推進費

438万円 (市民協働推進課)

男女共同参画社会を実現するため、男女共同参画広報紙「みいな」を発行するほか、フォーラムなどの啓発事業や女性団体の活動に対する補助を行います。

【財源】 市税などの一般財源 438万円

【主な使いみち】

- ・広報紙「みいな」・行動計画等印刷製本費 133万円
- ・地域婦人会連絡協議会等補助金 91万円
- ・啓発フォーラム開催委託料 80万円



消費生活と環境展②



市営駐車場



ゆーバス(地域バス)



日本語指導者養成講座



男女共同参画広報紙「みいな」

◇安心安全な水の供給

15. 老朽管更新事業(水道事業会計)

9億5,443万円 (水道施設課)

安心安全な水の供給を維持するため、耐久性に劣る石綿セメント管や老朽化した铸铁管を、地震に強い新たな铸铁管へ交換する工事を計画的に行います。

【財源】 国の補助 1億5,285万円
借入金(水道事業債) 4億7,690万円
水道料金などの自己財源 3億2,468万円

【主な使いみち】

- ・石綿セメント管更新工事費 8億3,925万円
- ・铸铁管更新工事費 1億1,518万円

16. 危機管理対策事業(水道事業会計)

9,030万円 (水道施設課)

安心安全な水道水の供給を図るため、紫外線照射装置の導入等を行います。

【財源】 借入金(水道事業債) 4,450万円
国の補助 2,800万円
水道料金などの自己財源 1,780万円

【主な使いみち】

- ・中山配水場紫外線照射設備設置工事費 8,900万円
- ・千本松浄水場沈殿池安全柵設置工事費 130万円

17. 配水管整備事業(水道事業会計)

3億2,520万円 (水道施設課)

新たな水需要に対応するため、道路改良工事等に合わせて水道管の整備を行います。

【財源】 借入金(水道事業債) 1億6,250万円
国の補助 1,500万円
水道料金などの自己財源 1億4,770万円

【主な使いみち】

- ・配水管整備工事費 3億2,520万円

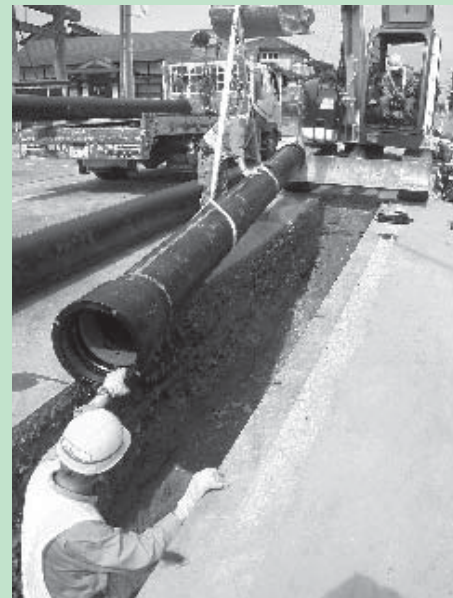
水道事業会計(企業会計) (主要内容と予算額)

○収益的収支

- ・収入: 24億3,884万円
(水道料金23億2,384万円)
- ・支出: 23億5,129万円
(職員給与、施設維持管理
給水経費、利息など)

○資本的収支

- ・収入: 9億3,275万円
(借入金、補助金、負担金)
- ・支出: 19億7,599万円
(建設費 15億6,481万円
借入金返済元金
3億9,511万円など)



水道管整備工事の様子



浄水場

I 自然と共生する
まちづくり

II 快適で潤いのある
まちづくり

III 健やかに安心して
暮らせるまちづくり

IV 安全で便利な
まちづくり

V 活力を創出する
まちづくり

VI 豊かな心と文化を
育むまちづくり

VII 創意と協働による
まちづくり